

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) PM19時30～21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(:司会、 :記録者)		

1. 配布資料の説明/検討

- ・費用対効果の資料配布。H11 年度作成資料。H32 年度から使用開始。それから 40 年間使用した時の計算
- ・費用計算方法が信頼に欠ける。このような計算が成り立つなら、高速道路もみない赤字とならない。
- ・道路をつくることによって発生する不便さや悪影響については計算されていない。
- ・身近なところでは、松本トンネルもほとんど利用されていない。

2. 前回の記録の確認

- ・4 ページ目、反対理由 のうち県道は分断でなく、立体交差もしくはインターチェンジとなるだろう。そうなると地元で費用負担が発生する。
- ・3 ページ目にある「調査費用」は昨年度、20 百万円、本年度 6 百万円とあるがこれだけか？
H6 年～12 年の調査費で約 1 億 5 千万円程度。これは外部への委託費のみで職員の経費は入っていない
- ・反対の署名運動も良いが「公開質問状」を出すことが有効なのではないか。「公開」とはマスコミを含める。お金も時間もあまりかけずにできるのではないか。 公開質問状の文案提示あり。
- ・以前に町に提言した時に役所前の「促進」の旗を取り下げた事実があった。しかし県会ではまったく「推進」のみであった。

3. 今後の活動について

- ・署名運動の前にやるべきことがあると思う。市民タイムスへの意見広告ではなからうか。
- ・穂高町の人達が美観がそこなわれ、住環境が悪くなってもよいから道路が必要であるということであればそれでもよい。住民がしらないあいだにとか、だまされて道路ができてしまったということでは納得できない。
- ・手段はいろいろあるだろう。今回の意見交換会に出てはじめてわかったことがたくさんある。一般の住民は、まだまだ知らないことがたくさんあるのではないか。それをなるべく多くの人に知らしめることが必要なのではなからうか。
- ・公開質問状の提出とマスコミへの通知をやはりやっていくべきではないか。
- ・しかし、それでは「白紙状態ですよ」ということで流されてしまうのではないか。
- ・道路と少しちがうが、市・町・村合併のことが出てきている。PI手法がとられてきている。
- ・昨年の説明会で「おかしい」ということが出てきて、今回の意見交換会につながってきた。全住民にくばられたが出席者 150 名。まだまだこれをひろげていく必要があるだろう。
- ・より、問題を大きくとり上げてもらうように、いろいろな方法をとっていく必要があるだろう。
- ・どんな方法が考えられるのかを考えたらどうか。署名・意見公告・公開質問状以外に。
- ・新聞などへの投稿は動か。反対運動の組織グループを中心にして。

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) PM19時30～21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(:司会、 :記録者)		

- ・できるだけ、他のグループとも協調して考えられる方法を続けてやっていくことが必要であろう。まずは、意見広告をやり、その後質問状、署名等につなげていけるようにひろげていくのがよいと思う。
- ・どんなタイミングでやっていくのか。今は中だるみのようになってしまっている。11月にといわれていたまとめが出てしまう前に何かの動きをとったほうがよいのではないか。
- ・他のグループにも呼びかけたらどうか。たぶん反対が多かろうが「運動にしよう」というところまではいってないであろう。
- ・今日、7グループが集まっている。全員反対であったので今日、賛成のひとに来てもらって意見を聞いている。
- ・以前に反対グループの人がチラシをつくって信毎に入れてもらおうとしたが、断られた。
- ・まずは、市民タイムスに意見広告を出した時にどのくらいの費用がかかるかを調べてみるべきであろう。
- ・広告を出して効果があるだろうか。
- ・市民タイムスの発行部数は65,000部ぐらいのはず。新毎は、その倍ぐらいであろう。
- ・公開質問状形式は一般的であるし、費用もかからないかもしれないがインパクトは少なかりょう。
- ・同時に平行してやっていって相乗効果を出していったほうがよいのではなかりょうか。
- ・できるだけ多くの人に資金を出してもらえるような方法を考えるべきではなかりょうか。例えば、10万円の広告料が必要ならば1人あたり1,000円であれば100人分が集まってからやるほうがよかりょう。
- ・たとえば駅でノボリをたてて、チラシを配るような動きもどうだろうか。
- ・この件は先に長い問題だと思うので地道に着々とやっていく必要がある。
- ・今回のことで終わってしまって個人となってしまうのではなく、組織的なものにしていったほうがよい。他のグループなどとも横につなげていったらどうだろうか。
- ・伏流水は東に流れているので、南北に道路がとおれば影響大である。
- ・もっと自主的に活動をすすめていくべき時期になってきているのではなかりょうか。場所設定にしても自主的にやっていくべきではなかりょうか。そのためにリーダーたる班長を決めていったらどうか。
- ・それぞれ個人個人がこの道路の件で問題意識をもっているので、各自がまわりに働きかけて動かしていくことが重要であろう。
- ・そのためにも町の主催後にも引き続き活動が続けられるようにしたい。
- ・白紙で「ゼロからの話し合い」というのが本当に「ゼロなのか」疑問がある。
- ・最近の新聞でも「ルート」の話しが出てきている。
- ・それだけに我々の動きも長く

第4回 意見交換会 要旨

開催日時 11月 6日(火) PM19時30～21時30

市町村名 穂高町 グループ名 5

メンバー
(: 司会、 : 記録者)

4. 次回のミーティング

- ・11月までにまとめて、合同報告会をおこなう予定。合同報告会は12月に入ってからとなるであろう。
- ・次回は11月20日(火) 19:30～21:30 体育館会議室

以上